

<回覧>



たかずやの里通信

発行日 平成 28 年 8 月 吉日

発行人 たかずやの里

児童養護施設「たかずやの里」の子どもたちは、暑い夏にも負けず元気いっぱい生活しています。異年齢集団で遊ぶことも多く、今は施設の周りを走っています。一生懸命走った後の麦茶は一段と美味しいようです。

さて、たかずやの里での様子を地域の皆様に発信し、ご理解の輪を広げていきたいと願い、「たかずやの里通信」を発行することとなりました。今回は、4月から7月までの活動の様子をご紹介します。

収穫の喜びを夢見て！

春、子どもたちは田んぼや畑に作物を植えました。大きな田んぼには、オタマジャクシやカエルがいてびっくり！泥の田んぼに裸足で入る経験をした子どもたちは、その感触に奇声を上げて喜んでいました。

また、施設近くにお借りした畑では、ジャガイモやきゅうり等を植えました。学校から帰ってくると、おやつ代わりにきゅうりやブルーベリーを採って食べています。採れたての新鮮な野菜やフルーツは最高です。ピーマンが苦手な子も、自分で収穫し、自分で炒めたら「美味しい」と言って食べていました。体験に勝る食育はないんですね…！

みんなで協力して勤労の汗を流したよ…

東春近に移転して3年目に入りました。その間、富県にあった主だった旧施設は取り壊され、今は更地になっています。思い出の建物がなくなってしまい、少し寂しい気もしますが、時々施設跡地に遊びに出かけています。その跡地には薪ストーブ用の間伐材が置いてあります。6月の晴れた日。その間伐材を地域の方々にご協力頂き、薪にしてもらい、子どもたちが運びました。施設南側にたくさんの薪を積みました。また、この日は草刈作業も行い、環境整備をしていただきました。お陰さまで、大変綺麗になりました。ありがとうございました。



球技大会に参加しました！ 去る7月28日に施設連盟主催の球技大会が行われました。お忙しい中、特別講師を引き受けてくださった阿部御夫妻のご指導の元、サーブカットのコツなど教えていただいたおかげで、大健闘することが出来ました。県大会では4位という好成績を収めることができました。選手たちの自信に繋がったようです。

お蕎麦やホットケーキを作ってもらったよ！



子どもたちに喜んでもらいたい！と、たくさんの皆さんがボランティアとして施設に足を運んでくれています。この日は、お昼に打ち立てのお蕎麦をいただきました。蕎麦粉から麺になっていく様子をじっと見ていた子どもたち。全国でも数少ない蕎麦打ち名人5段の原さんが、真剣に打ち込む姿は勇ましかったです。そのお蕎麦をみんなで美味しくいただきました。

また、ホットケーキ作りも体験させていただきました。フライ返しを使い方を教わり、見よう見まねでひっくり返す。こんがり美味しそうに焼けたホットケーキを自慢げに「ぼくが焼いたよ！」と一言。その子に優しい眼差しで「美味しそうだね」と一言。味もさる事ながら、温かい雰囲気にも包まれた時間でした。

今年もやります！「たかずやふれあい祭り」

平成28年10月16日（日）10時～13時まで計画しております。20回目という節目に当たる本年。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

社会福祉法人 たかずや福祉会から



子育て講演会を開講しました。お忙しい中講師を引き受けてくださった、伊那市教育委員長の松田泰俊先生。先生からは、具体的な子どもの姿を通して、子ども目線になる重要性をお話していただき、参加した方々からも称賛の声が多くありました。

< 5月30日付 新役員紹介 >

理事長	登内	孝	さん
理事	伊藤	隆	さん
理事	北原	和俊	さん
評議員	池田	達雄	さん